

# 年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施について

本年度も国土交通省提唱の「年末年始の輸送等に関する安全総点検」が、平成26年12月10日から平成27年1月10日まで実施されます。

これに伴い期間中、各事業所の安全な運行に対する点検及び指導状況等を把握するため、近畿運輸局長から別紙「平成26年度年末年始の輸送等に関する安全総点検実施細目」のとおり「別紙点検表（トラック）」による報告を求められております。

つきましては、年末年始何かとご多忙の折誠に恐縮とは存じますが、別紙「点検表」に実施結果をご記入頂き、平成27年1月14日（水）までにトラック協会宛FAXにてご報告下さいますようお願い申し上げます。

**滋賀県トラック協会**

**FAX            077-585-8015**

## 平成26年度 年末年始の輸送等に関する安全総点検実施細目

【自動車輸送等関係】

平成26年11月27日  
近畿運輸局

「平成26年度年末年始の輸送等に関する安全総点検実施要綱」（以下、「実施要綱」という。）に基づき、輸送機関等に入流・物流が集中する年末年始に臨み、各自動車運送事業者等及び貨物利用運送事業者について、自主点検等を通じた安全性の向上を図るとともに、輸送安全等に対する意識の高揚を図るため、年末年始の輸送等に関する安全総点検を次のとおり実施するものとする。

本年度については、実施要綱で示されている全省共通の重点点検事項及び自動車交通関係点検事項について点検を実施するとともに、特に、本年度の自動車交通における輸送の安全に関する状況等を勘案して、自動車局重点点検事項を設定し、全省共通重点点検事項と併せて重点的に総点検を実施する。

### 1. 期間

平成26年12月10日（水）～平成27年1月10日（土）

### 2. 重点点検事項

#### （1）自動車局重点点検事項

- ① 健康管理体制の状況
- ② 運転者に過労運転を行わせないための安全対策の実施状況
- ③ 運転者に飲酒運転や薬物運転等を行わせないための安全対策の実施状況

#### （2）自動車交通関係点検事項（※は全省共通重点点検項目）

- ① 点呼の実施、運転者に対する指導監督（※）及び車両の日常点検整備、定期点検整備等の実施状況
- ② コンテナ輸送における安全対策の実施状況
- ③ バスターミナル及び自動車道の保守点検の実施状況
- ④ 自然災害・事故等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況（※）
- ⑤ テロ防止のための警戒体制の整備状況、テロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備状況及びテロ発生を想定した訓練の実施状況（※）
- ⑥ 新型インフルエンザ等対策の実施状況（※）

#### （3）貨物利用運送関係点検事項

危険物輸送を管理するための体制整備状況

### 3. 点検項目

- （1）自動車運送事業者及びバスターミナル事業者並びに自動車道事業者については、別紙「安全総点検実施項目」のとおりとする。
- （2）貨物利用運送事業者については、別紙1「点検項目（貨物利用運送事業関係）」のとおりとする。

### 4. 総点検実施要領

事業者に対しては、特に新規参入事業者、関係団体未加入事業者等において、総点検の主旨を理解していない事業者が増加していることから、あらゆる機会を通じて、事業者への総点検の周知徹底を図るものとする。

【自動車運送事業者について】

- (1) 近畿運輸局及び管内運輸支局並びに兵庫陸運部（以下、「局及び支局」という。）は、関係事業者団体及び関係事業者に対して実施方法等を示し、総点検の指導を行うものとする。
- (2) 局及び支局は関係事業者に対し、次の事項を指示するものとする。
  - ① 総点検は、現場機関のみに任せることなく、総点検最高責任者を選任し、事前に十分な計画を定めて実施すること。
  - ② 重点点検事項については、特に入念な点検を行うこと。
  - ③ 総点検において発見された不備事項については、早期改善について厳正な態度で臨み、適切な措置を行うこと。
- (3) 局及び支局は関係部局と調整の上、総点検の査察対象事業者を選定し、事業者の本社のほか、現場機関を訪問するなどにより、全体的な総点検実施状況を把握するため、様式2-1～2-3「立入点検表」により査察するものとする。

なお、選定において、一般乗合旅客自動車運送事業者及び一般貸切旅客自動車運送事業者は、それぞれできる限り全てを対象とするよう努め、その他の業種については、できる限り昨年度と異なる事業者を対象とするものとする。

【バスターミナル事業者及び自動車道事業者について】

- (1) 近畿運輸局は、関係事業者に対して実施方法等を示し、総点検の指導を行うものとする。
- (2) 近畿運輸局は関係事業者に対し、次の事項を指示するものとする。
  - ① 総点検は、現場機関のみに任せることなく、総点検最高責任者を選任し、事前に十分な計画を定めて実施すること。
  - ② 重点課題とされた点検事項については、特に入念な点検を行うこと。
  - ③ 総点検において発見された不備事項については、早期改善について厳正な態度で臨み、適切な措置を行うこと。
- (3) 近畿運輸局は関係部局と調整の上、総点検の査察対象事業者を選定し、事業者の本社のほか、現場機関を訪問するなどにより、全体的な総点検実施状況を把握するため、様式2-4～2-5「安全総点検査察表」により査察するものとする。

【貨物利用運送事業者について】

- (1) 貨物利用運送事業者は、様式1「点検表（貨物利用運送事業）」（以下、「自主点検表」という。）に基づき危険物輸送を管理するための体制等の自主点検を行う。
- (2) 自主点検表の送付は、本省より行う。
- (3) 近畿運輸局は、期間中の立入検査予定事業者について、併せて立入点検対象事業者を選定するものとする。
- (4) 立入点検実施者は、立入点検の実施に際し、事前に当該点検対象事業者へ立入点検の内容及び提示書類について通知するものとする。
- (5) 立入点検実施者は、事業者が実施した自主点検の結果について、様式2「点検表（貨物利用運送事業）」（以下、「立入点検表」という。）に基づき貨物利用運送事業者の責任者からの聞き取りを行うとともに、提示書類及び現場確認も行い、その点検結果を記録する。

なお、立入点検の結果、不備事項がある場合には、改善の完了予定年月日を責任者に確認の上、立入点検表へ記載する。

【街頭検査等の実施及び局及び支局自らの点検について】

- (1) 局及び支局は、自動車検査独立行政法人、関係行政機関等と調整の上、街頭車両検査等必要な指導、取締りを行うものとする。
- (2) 局及び支局は、自ら、自然災害・事故・事件等発生時における連絡体制その他安全に関する業務の体制について、点検を実施するものとする。

5. 報告

【自動車運送事業者の点検結果及び期間中の事故等の発生状況並びに街頭検査の実施状況について】

- (1) 関係事業者団体は、総点検の実施結果について、関係事業者から様式1-1～1-4「自

主点検表」をとりまとめ、別紙1（様式3-1関係）「安全総点検の実施結果」により平成27年1月23日（金）までに管轄の運輸支局（陸運部）長あて報告するものとする。

- (2) 運輸支局（陸運部）長は、関係事業者からの報告をまとめ、総点検期間中における事故等の発生状況、自ら実施した総点検の結果及び街頭検査の実施状況並びにこれらに対する所見について、様式3-1「実施結果報告書」（別紙1及び別紙2を含む。）及び様式3-2「街頭検査の実施状況」にとりまとめ、平成27年1月30日（金）までに総務部長あて報告するものとする。

**【バスターミナル事業者及び自動車道事業者の点検結果について】**

関係事業者は、総点検の実施結果について様式1-5～1-6「自主点検表」をバスターミナルは各ターミナルごと、自動車道は各路線ごとに作成し、平成27年1月23日（金）までに近畿運輸局長あて報告するものとする。

**【貨物利用運送事業者の点検結果について】**

貨物利用運送事業者は、総点検の実施結果について、様式1「点検表（貨物利用運送事業）」を平成27年1月23日（金）までに本社所在地を管轄する運輸局長あて報告するものとする。

自主点検表(トラック)

事業所名: \_\_\_\_\_  
点検実施日: \_\_\_\_\_

重点点検事項	点検結果	問題点があればその内容と講じた措置等
<b>1. 健康管理体制の状況</b> ※1.(1)について、認識している場合は「○」を、認識していない場合は「×」を記入下さい。また、1.(6)(7)については、「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」において推奨事項としてしていることから、実施している又は検討中の場合は「○」を、実施していない又は検討していない場合は「×」を記入下さい。		
(1) ※ 「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」に基づき、運転者の健康管理の必要性を認識しているか。		
(2) 定期健康診断において、要再検査や要精密検査、要治療の所見がある場合には、当該運転者に医師の診断等を受けさせ、医師の判断により必要に応じて、所見に応じた検査を受診させるとともに、これらの結果を把握し、医師から結果に基づく運転者の乗務に係る意見を聴取しているか。		
(3) 医師からの意見等を勘案し、運転者について、乗務の継続、業務転換、乗務時間の短縮、夜間乗務の回数の削減等の就業上の措置を決定するとともに、当該運転者の健康状態を継続的に把握しているか。		
(4) 乗務前点呼において、「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」に記載されている乗務中止の判断目安等に従って、運転者が安全に乗務できる健康状態かどうかを判断し、乗務の可否を決定しているか。		
(5) 運転中に体調が急変し運行に悪影響を及ぼす場合に備え、「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」に記載されている判断目安により判断を行い、即座の運転中止、休憩の確保、運行管理者への報告等必要な措置を講じる必要があることを運転者に周知しているか。		
(6) ※ 脳・心疾患や睡眠障害等の運転に支障を及ぼすおそれのある疾病等の着実かつ早期の発見のため、当該疾病に関するスクリーニング検査等を運転者に受診させているか。		
(7) ※ 運転者の健康増進・管理を支援し確実なものとするため、日常の健康管理や運転者の体調異常やその前兆の検知等に資する機器等を導入しているか。		
<b>2. 運転者に過労運転を行わせないための安全対策の実施状況</b>		
(1) 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」告示の内容(特に長距離運転又は夜間運転の際の乗務時間)を遵守しているか。		
(3) 適切な運行指示書の作成及び適切な指示をしているか。		
<b>3. 運転者に飲酒運転や薬物運転等を行わせないための安全対策の実施状況</b>		
(1) 飲酒運転を未然に防ぐため、アルコール検知器の使用を徹底し、厳正な点呼を実施しているか。		
(2) 運転者等に対して、飲酒運転防止に対する指導・啓発活動を実施しているか。		
(3) 飲酒を習慣にしている人を把握し、翌日に業務がある場合の飲酒等について指導しているか。		
(4) 覚せい剤や危険ドラッグ等の薬物使用防止に対する指導・啓発活動を実施しているか。		
<b>点検事項</b>	<b>点検結果</b>	<b>問題点があればその内容と講じた措置等</b>
<b>1. 点呼の実施、運転者に対する指導監督及び車両の日常点検整備、定期点検整備等の実施状況</b>		
(1) 点呼の際、運転者の運転免許証の携行、有効期限の確認を確実にしているか。		
(2) 適性診断結果を活用した指導を行っているか。特に、高齢の運転者に対し、加齢に伴う身体機能の変化の程度に応じた安全な運転方法について指導を行っているか。		

(3)	事故が発生した際は、その事故の実態を確実に把握し、十分な指導・監督を行うなど事故防止対策が図られているか。		
(5)	過積載運行等の防止を図っているか。		
(6)	過積載、暴走等を助長するような車両の不正改造(例:不正な二次架装、速度抑制装置の機能の解除、前面ガラスへの裝飾板の取付等)の防止が徹底されているか。		
(7)	自動車点検基準に基づく日常点検及び定期点検が実施されているか。また、自動車の点検整備等に関する社内規程の内容について、整備管理者等への周知徹底が図られているか。		
<b>2. コンテナ輸送における安全対策の実施状況</b>			
(1)	コンテナの運送開始前に、トレーラの荷台とコンテナを固定する緊締装置のロックを徹底するよう運転者に指導しているか。		
(2)	トラクタ・トレーラの構造上の特性と、当該特性及びコンテナ内貨物の状態を踏まえた運転時の適切な運転操作について運転者に指導しているか。		
(3)	国際海上コンテナの運送を行う場合には、荷主や取次事業者等、運送の委託者からコンテナ内貨物の重量、品目、梱包、危険物に関する情報を取得し、当該情報を運転者に伝達しているか。		
(4)	国際海上コンテナの運送を行う場合には、荷主や取次事業者等、運送の委託者から取得した情報に基づき適切な車両を手配するとともに、当該情報によりあらかじめコンテナに不具合のおそれがあると認められる場合には、当該委託者に連絡し、対応について指示を仰いでいるか。		
(5)	国際海上コンテナの運送を行う場合には、コンテナの運送開始前に、重量超過、偏荷重、高重心、コンテナの損傷、内容物の漏れ、その他不具合が生じていないか確認し、これらのおそれがある場合には、事業者と連絡するよう運転者に指導しているか。		
<b>4. 自然災害・事故等発生時の乗客等の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況</b>			
(1)	自然災害・事故・事件等発生時(テロ発生時を除く。)における対応措置(連絡通報体制、避難誘導体制等)を整備・構築しているか。		
(2)	自然災害・事故・事件等発生時(テロ発生時を除く。)において、連絡通報体制、避難誘導体制が機能するよう、実践的な訓練を実施しているか。		
(3)	危険物等運搬車両については、緊急連絡カード(イエローカード)の携行その他必要事項について規定されているか。		
(4)	「自動車運送事業者等用緊急時対応マニュアル」にある速報対象となる事故・事件が発生した場合、当該マニュアルに従い、速やかに各地方運輸支局等緊急連絡担当先へ連絡できる体制を整えているか。		
<b>5. テロ防止のための警戒体制の整備状況、テロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備状況及びテロ発生を想定した訓練の実施状況</b>			
(1)	始業・終業時等における車内の点検及び営業所・車庫内外の巡回が徹底して実施されているか。		
(2)	不審者情報の入手及び不審な宅配便等貨物を発見した場合の警察への連絡等適切に対応できる体制が整っているか。		
<b>6. 新型インフルエンザ等対策の実施状況</b>			
(2)	職場内におけるうがい、手洗い及び消毒用アルコールを使用した手指消毒の徹底が図られているか。		
(3)	インフルエンザ等の流行に備え、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく事業継続計画、または対応マニュアルが策定されているか。		

点検項目	実施回数	備考
総点検期間中に経営トップ等の幹部が現場視察を実施した回数		

注)「点検結果」欄には○(良好)、×(改善を要する)を記入下さい。